

申請者	学科名	デザイン学部 デザイン工学科	職名	准教授	氏名	村木 克爾	印
調査研究課題	独自製品開発を目指す中小企業助勢のための産学協働活動に関する調査研究						
交付決定額	710,000-						
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担		
	代表	村木克爾	デザイン工学部 准教授	マネジメント工学	リーダー		
	分担者	山下明美	デザイン学部 教授	色彩Design	VisualCommunication		
		アンソニー・ブルネリ	デザイン学部 准教授	言語学	デザイン技法関連分野		
市川正美		情報工学部 准教授	振動解析	機械工学関連分野			
	上田篤嗣	デザイン学部 助教	GraphicDesign	GraphicalDesign関連分野			
	三原鉄平	デザイン学部 助教	ProductDesign	BrandingProduce関連分野			
	筒井澄栄	国立リハビリテーションセンター 室長	福祉工学	福祉工学関連分野			
	神代 充	富山大学 教授	Interface工学	認識工学関連			
調査研究実績の概要	<p>平成26年度において行った本地域貢献特別研究でも、産学官連携推進センターの全コーディネータと緊密な連絡を取りつつ協調をして、提案型共同研究をベースにする地域企業へのアプローチと、既に地域コンソーシアムとして我々が独自に立ち上げているMoDDネットに参加あるいは賛同する企業を中心にした活動を実施した。</p> <p>今年度においてもアクティブ・ラボ等を利用した形で、昨年度からの継続している作新化成株式会社〔岡山市／右上図企画検討の風景、次ページ右上図 製品概念スケッチ〕とは、新製品開発に関する共同研究を引き続き実施した。また製品開発に関連しての特許申請に関する事案にまで含めての検討会も行っている。</p> <p>他には株式会社クニファーム〔新見市〕や、山県化学株式会社〔倉敷市〕に対してMoDDあるいは教員個人単位でのアプローチを行った。</p>						

地域貢献への  
反映を踏まえて  
記述のこと



調査研究実績  
の概要

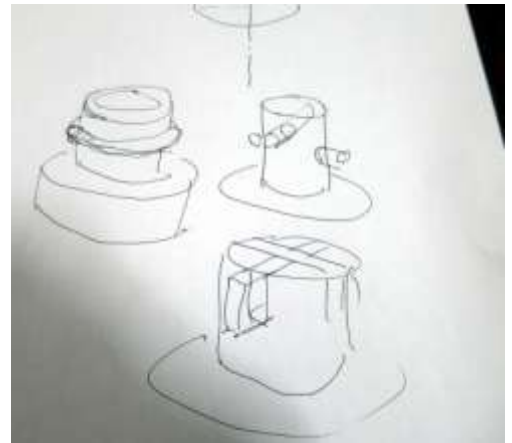
（地域貢献への  
反映を踏まえ  
て記述のこと）

前者の企業は岡山県阿新圏における農業六次産業化に関連したデザイン戦略、商品開発、ブランディングを総合的に行うことによって、総合的なデザイン力が企業価値を向上させ、商品を魅力化し、商品流通の活性化を目指すものであり、頻繁な交流を行った〔右中図〕。

後者では、一般消費者向けや海外展開なども含めて新たな市場の創出が可能な新自社ブランド製品の展開を、限られた小さな市場で行うことが喫緊のテーマであることが提起された主たる内容であった。またMoDDネットに関連している企業を対象とした活動も例年と同様のレベルで行った。

上に述べたように全て新たなブランド展開に関連する新製品の開発に関係するものであり、中小規模に分類される企業の切実な希求がうかがえる。その中で今年度は、山形化学株式会社との協同研究を新年度より成立させている。

最後に平成27年2月17日に岡山県工業技術センターで行われた「マイクロものづくり大学『商品開発セミナー～デザインは見た目だけじゃない！～』」において「プロダクトデザインの具体例とデザインマネジメント」と題された本特別研究代表者による講演〔<http://micro-gr.jp/wp/?p=4360>〕などを通じて、本地域貢献特別研究の趣旨は県内企業に対して発信を行っている〔右下図〕。



成果資料目録